

## 夏休みにおける子供の安全対策

夏休みは、子供たちだけで行動することが増え、行動範囲も広がります。

子供たちに、不審者への対応や、危険な場所には行かないなど、防犯意識の向上につながる家庭教育を行うとともに、地域で一体となった子供の見守り活動により、子供を事件、事故から守りましょう。



～子供を犯罪から守るために～

- 人通りが少ない場所や見通しの悪い場所などの危険箇所がないか子供と一緒に点検しましょう。
- 危険箇所では遊ばせないようにしましょう。
- どこで誰と遊ぶかについて、きちんと説明させ、暗くなる前には帰宅させましょう。
- 知らない人に声をかけられたり、つきまとわれるなどした場合は、すぐに家族へ知らせるように繰り返し教えましょう。
- 警察がメールで配信している「ひょうご防犯ネット」を活用して、地域ぐるみの見守り活動につなげましょう。



### 親子の防犯合言葉「いかのおすし」

- 「いか」・・・知らない人<sup>ひと</sup>について いかない
- 「の」・・・知らない人<sup>ひと</sup>の くるま<sup>くるま</sup>に のらない
- 「お」・・・おおごえをだす
- 「す」・・・すぐにげる
- 「し」・・・なにかあつたら しらせる

子供たちがきちんと覚えているか、確認してみましょう。

